

国際海上コンテナターミナル整備事業 【徳島小松島港 赤石地区】

現在、マリンプピア沖洲に整備されている徳島コンテナターミナルを、中国航路の誘致や韓国航路の増便に向けて、小松島市の赤石地区に移転する計画が進められています。船型の大型化や荷役の効率化に対応するものです。

コンテナ貨物取扱量の増大に合わせ、ターミナルの移転により、物流コストを下げ、貿易をさらに活発にして、地域経済の活性化を図ります。必要な基盤整備、それを支える民間活力の活用を含めてタイミング良く効率的に進めるため、今年度からターミナル施設の配置計画や倉庫等の設計に着手しており、平成23年春の完成、ターミナルオープンを目指しています。

その特徴として、①コンテナクレーンの機能強化とコンテナヤードを拡大(=現在の4.8haから6haに拡大)することにより効率的な荷役が可能、②岸壁水深が7.5mから10mに増深することにより、対象船舶は最大15000トン級コンテナ船まで寄港可能、などがあげられます。具体的には、コンテナクレーンや陸上荷役機械、ヤード内の舗装やゲート設備に加え、危険物置場や空コンテナ置場、貨物の仕分けやコンテナへの積み込み・積み替えのための上屋(CFS)や保税区域の指定、安全安心のための保安施設・監視設備等を整備します。

赤石地区のコンテナターミナルを整備することにより、中国をはじめとする東アジアとの貿易を促進し、物流コストの削減を図り、地元企業や住民の期待に応えていくことを目指します。

詳しくは、徳島県 運輸政策総局 港湾空港企画課にお問い合わせください。

(TEL:088-621-2584)

赤石地区 国際海上コンテナターミナル

○整備施設

コンテナヤード 6ha
コンテナクレーン 1基
陸上荷役機械
冷凍コンテナ用電源設備
コンテナフレートステーション(CFS)
など

○目標

東アジア地域とのダイレクト航路の充実
地元産業・貿易の振興、地域経済の活性化



徳島～釜山間 コンテナ定期航路の増便について

海外との貿易には安くて便利な地元徳島からのコンテナ航路を!

徳島コンテナターミナルと韓国釜山を結ぶコンテナ定期便が、今年11月20日から週3便に増便しました。原油価格の高騰等により平成20年7月以降、週1便となっていましたが、今年10月末から週2便に増便し、この度の週3便体制は平成10年11月以来11年ぶりです。

各船社の平成21年12月1日現在の寄港地と運航ルートは以下のとおりです。

高麗海運	釜山(火)▶徳島(木)▶高松(金)▶福山(金)▶今治(土)▶松山(土)▶釜山(日)
興亜海運	釜山(月)▶徳島(火)▶高松(水)▶福山(水)▶水島(木)▶釜山(金)
STXパンオーシャン	釜山(日)▶伊予三島(月)▶徳島(火)▶高知(水)▶釜山(木)▶徳山(金)▶釜山(土)

このほか、徳島コンテナターミナルからは不定期ながら、神戸港へ内航フィーダが週1~2便の頻度で運航しています。